NEWS RELEASE

木を植えています
私たちはイオンです

２０１６年７月１２日
ＮＰＯ法人 北海道遺産協議会
イオン北海道株式会社
マックスバリュ北海道株式会社

北海道遺産
Hokkaido Heritage

２０１５年度寄付金による
「ほっかいどう遺産ＷＡＯＮ」
北海道遺産 保全・活用の助成先決定！

北海道のイオングループ（イオン北海道株式会社、マックスバリュ北海道株式会社）は、ほっかいどう遺産ＷＡＯＮの利用金額の０．１％をＮＰＯ法人北海道遺産協議会（以下、北海道遺産協議会）に毎年寄付し、北海道遺産の保全活動にお役立ていただいております。この度、北海道遺産協議会が今年度の助成先を決定いたしましたのでご案内申し上げます。

「ほっかいどう遺産ＷＡＯＮ」は、北海道とイオン株式会社の包括連携協定の取組みのひとつとして発行されました。このカードをイオン各店舗とＷＡＯＮ加盟店で利用していただくことにより、その利用金額の０．１％が北海道遺産協議会に寄付され、北海道各地にある宝物を次代に引き継いでいく活動に役立てていただいております。

２０１４年度のほっかいどう遺産ＷＡＯＮの寄付総額は、１，３５７万２，６４２円となり、その寄付金の一部は、「小樽みなとと防波堤」をはじめ、「空知の炭鉱関連施設と生活文化」や「函館山と砲台跡」、「函館西部地区の街並み」など１７件（６００万円）の北海道遺産の保全活動に活用されました。

２０１５年度の寄付総額は１，４３４万９，５５７円となり、寄付金による助成先として１５件（８００万円）が決定いたしました。そのうち、「北の縄文文化遺跡群の魅力発信事業」「風景と記憶の森へ～地形とアイヌ語地名から読み解く白老・登別～」の企画展、「函館西部地区街並み保全・活用プロジェクト」の３件は、今年度新たに１００万円規模の助成をいたします。

イオンは、今後もお客さまに便利にご利用いただけるＷＡＯＮを通じて、北海道との連携を深め、北海道の活性化に尽力してまいります。

【ほっかいどう遺産ＷＡＯＮの概要について】

発 行 開 始：２０１１年７月２８日
発 行 枚 数：約１９万枚（２０１６年５月末現在）
チャージ可能金額：上限５万円
（一回あたりのチャージ金額は２万９千円まで）
道内の使用可能場所：道内約３，４５０箇所
（２０１６年５月末現在）
（一例）全国のイオン系列スーパー、ツルハ
ローソン、マクドナルド、コスモ石油
累計寄付総額：４９，２３８，９３８円

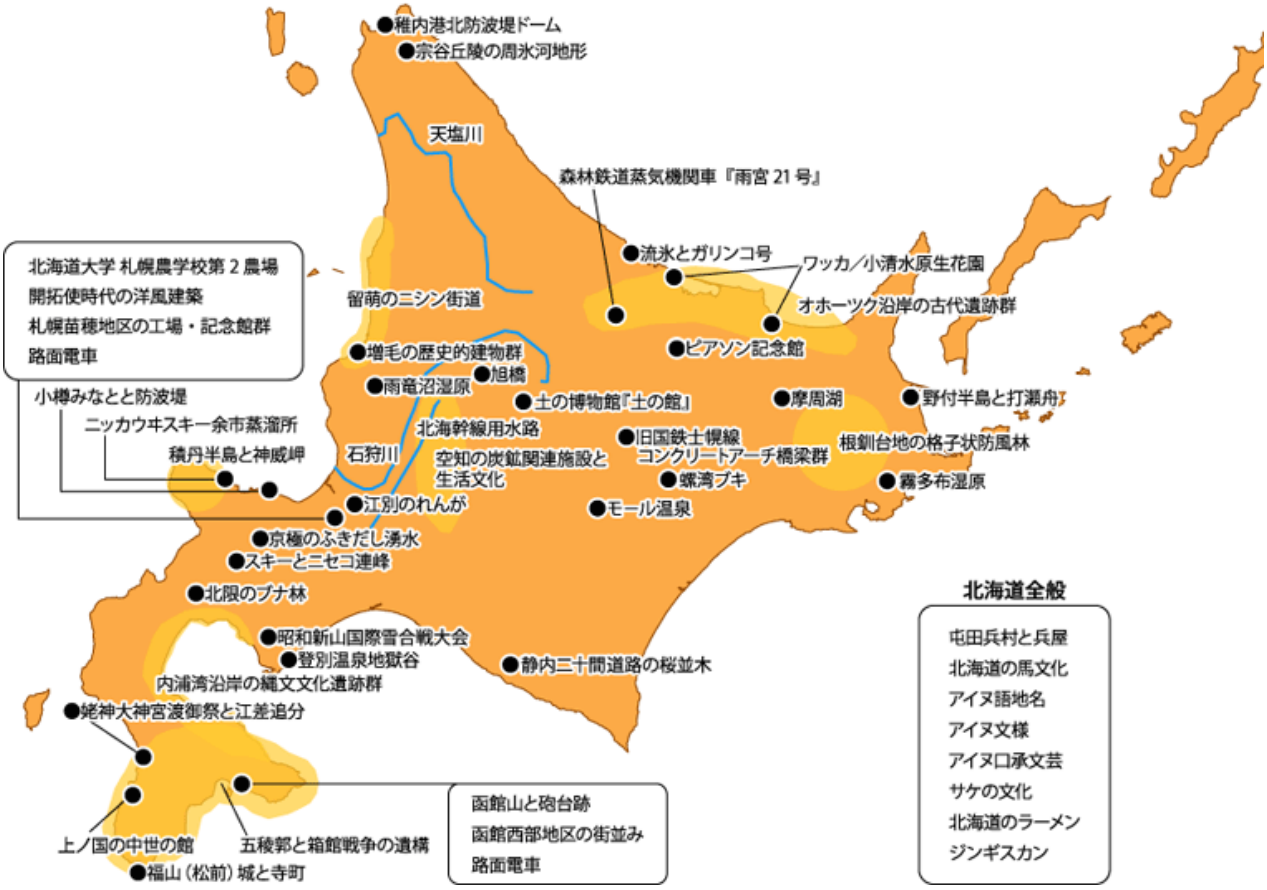
【本件に関するお問い合わせ】
イオン北海道㈱　広報・環境社会貢献部　佐藤・武内　電話：０１１－８６５－９１１１

【ご参照】

◆２０１６年度「ほっかいどう遺産ＷＡＯＮ」の寄付金による助成先一覧

（単位：円）

No.	遺産の名称	地域	団体名称	活動の名称	助成額
1	内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群	内浦湾沿岸地域	北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録をめざす道民会議（略称：北の縄文道民会議）	北の縄文文化遺跡群の魅力発信事業	1,000,000
2	アイヌ語地名	白老町	一般財団法人アイヌ民族博物館	企画展 「風景と記憶の森へ　～地形とアイヌ語地名から読み解く白老・登別～」	1,000,000
3	函館西部地区の街並み	函館市	NPO法人はこだて街なかプロジェクト・箱バル不動産	函館西部地区街並み保全活用プロジェクト（街並み再生プロジェクト、函館移住計画2016）	1,000,000
4	旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群	上士幌町	NPO法人ひがし大雪アーチ橋友の会	北海道遺産・コンクリートアーチ橋梁群　保全事業	500,000
5	札幌苗穂地区の工場・記念館群、北海道大学札幌農学校第2農場、開拓使時代の洋風建築、ジンギスカン、北海道のラーメン	札幌市	さっぽろサイクルラボ（一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター、NPO法人エコ・モビリティサッポロ、NPO法人ゆうらん、NPO法人コンベンション札幌ネットワーク、サッポロバイクプロジェクト）	北海道遺産を巡る都市型サイクリングマップの作成事業	500,000
6	空知の炭鉱関連施設と生活文化	美唄市	美唄青年会議所	美唄青年会議所認定・炭鉱（ヤマ）の記憶「こども大使」プロジェクト事業	500,000
7	増毛の歴史的建物群（駅前の歴史的建物群と増毛小学校）	増毛町	増毛町	ふるさと歴史通り景観セミナー及び旧増毛小学校校舎の保全・新たなる活用へ	450,000
8	霧多布湿原、空知の炭鉱関連施設と生活文化	浜中町、空知地域	主催　NPO法人奏楽 共催NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト、NPO法人炭鉱の記憶推進事業団	北海道遺産でクラシックコンサートを！プロジェクト	450,000
9	札幌苗穂地区の工場・記念館群	札幌市	福山醸造株式会社、サッポロビール株式会社、雪印メグミルク株式会社	身近に感じる北海道遺産ツアー	400,000
10	モール温泉	音更町	十勝川温泉旅館協同組合	「モール温泉」をフル活用した新たな温泉拠点施設「ガーデンスパ十勝川温泉」内の案内板（サイン）及び広報用PRツール（パンフレット等）の作成	400,000
11	昭和新山国際雪合戦大会	壮瞥町	昭和新山国際雪合戦実行委員会	雪合戦ジュニア交流戦開催充実による未来の選手育成事業	400,000
12	開拓使時代の洋風建築	札幌市	創成東開拓使プロジェクト	旧永山武四郎邸の歴史から札幌のまちづくりを考える参加型イベントの実施	400,000
13	江別のれんが	江別市	NPO法人江別における持続可能なコモンズのためのしくみ	北海道遺産『江別のれんが』を活用したシティブランディングおよび交流人口の拡大	400,000
14	小樽みなとと防波堤	小樽市	小樽商工会議所	シビック・プライドの醸成による小樽港の再生	300,000
15	函館西部地区の街並み、内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群、他	函館市	一般財団法人 道南歴史文化振興財団	地域価値創造イベント「JOMONだっけや（仮称）」	300,000
※今年度の100万円規模助成事業は、1、2、3の活動				計	8,000,000

◆北海道遺産について

次の世代へ引き継ぎたい有形・無形の財産の中から、北海道民全体の宝物として選ばれたのが「北海道遺産」です。北海道の豊かな自然、北海道に生きてきた人々の歴史や文化、生活、産業など、各分野から道民参加によって選ばれました。
２００１年１０月２２日に第１回選定分２５件が、また、２００４年１０月２２日に第２回選定分２７件が決定・公表され、北海道遺産は総計５２件となりました。